

患者さまへ

「両十字靭帯温存型人工膝関節置換術で使用された機種と、両十字靭帯代償型人工膝関節置換術で使用された機種の術後早期の機能、動作レベルの違い」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020年11月から2023年6月までに当院で人工膝関節置換術を施行した方
2 研究目的・方法	膝関節の動き、歩行能力、痛みを、既に得られている診療録の情報から、両十字靭帯温存型人工膝関節置換術と両十字靭帯代償型人工膝関節置換術で使用された機種ごとに比較します。それぞれの術後早期の機能と動作の特徴を機種ごとに明らかにすることを目的としました。 研究の期間:施設院長許可後(2024年4月ごろ)~2025年2月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、身長、体重、安静時・動作時の痛みの程度、膝の角度、術前・術後の膝の筋力、歩く速さ等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:林尚吾 病院名・所属、職位:大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 理学療法士 住所:岐阜県大垣市林町6丁目85-1 連絡先:0584-77-6110